



つべつ

第102号

社協だより


編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和5年1月1日発行
<https://tsubetsu-shakyo.or.jp/>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>

笑い文字講座 開催しました。



ボランティアさんから
たくさんのありがとうをお届けします。

介護予防いきいきポイント事業（ボランティア）の研修として、笑い文字講座を開催しました。笑い文字上級講師の鴻巣知香子さん指導のもと、参加者全員が笑い文字を書けるようになり、素敵な作品が集まりました。参加者同士褒め合いながら、ありがとうを伝えたい人を思い浮かべながら、あたたかい雰囲気講座となりました。多くのボランティア活動に参加されているみなさんです。活動のなかにも「ありがとう」が広がることを期待しています。

 この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

謹賀新年

住民の皆さんと一緒に、地域共生社会を 目指した地域づくりを進めていきます！



津別町社会福祉協議会
会長 山田 英 孝

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、健やかで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は丸3年になり、社協活動においても人が多く集まる「ふれあい広場」などは開催することができませんでしたが、地域サロンや研修会などは感染対策を行いながら実施をしてきたところです。

特に昨年は、令和3年度から実施している重層的支援体制整備事業の2年目として、複雑・困難な事例を

抱えている世帯や何らかの理由でひきこもり状態にある方などの相談体制が充実してきています。

令和5年は、「第2期地域福祉計画・第5期地域福祉実践計画」の4年次を迎えます。

社協窓口での相談と合わせ、地域の主体の身近な福祉相談所「ぼっと」の取り組みにみられる声掛けや見守りなど予防福祉を展望した取り組みを進めていきます。

また、あんしん生活サポートセン



11月に開催した認知症サポーター
フォローアップ研修



ボランティアと協働の社協あぐり

ターでは、成年後見制度の相談や申立支援の他に本年は第5期市見後見人

養成講座の開催を予定しています。

合わせて、住民の皆さんとの協働事業である、介護予防いきいきポイント、生活支援サポートセンター、ふれあいサロン、認知症の方を支える事業などを通して、地域の中に気軽に集える場の確保など、コロナ禍の中でも、工夫をしながら活動を継続していきます。

本年も、役員員一丸となり、町や自治会、福祉団体など関係者の皆さんと共に、安心して暮らし続けられる地域共生社会を目指した取り組みを進めていきますので、皆さんのご支援を心からお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

社会福祉法人

津別町社会福祉協議会

会長 山田 英 孝

副会長 篠 森 紀 仁

理事 荒 川 博 明

伊 東 美 喜 子

大 場 建 男

大 東 勲

鹿 中 栄 子

庄 子 京 子

中 山 静 男

水 上 隆

房 田 敏 彦

監 事 小 笠 原 正 之

事務局長 小 野 淳 子

事務局次長 門 脇 隆 司

職員一同



認知症関係の絵本等の展示

10/11～11/18まで役場内社協カウンター前に展示して認知症の周知をしました。

「認知症の人にやさしい津別町に」の文字を作ってくれたのは・・・

昨年が続いて **立花 とうまくん** (9歳 左)
立花 るかくん (6歳 右) の兄弟です。

(社協 立花職員の息子です。)



ひとり歩き高齢者おかえり模擬訓練

豊永第3自治会で認知症に関する研修会を開催しました。内容はサポーター養成研修、寸劇、搜索模擬訓練です。認知症の方がどのような経緯で行方不明になるかや認知症の方への声の掛け方を学びました。



認知症サポーター ステップアップ講座

認知症サポーター養成研修修了者を対象に開催しました。33名の方が受講し、認知症に関する基礎知識や理解を深め、これから津別町で必要な活動をグループワーク形式で話し合いました。多くの意見が出されたので、実現に向けて進めていきます。



オホーツク管内 市民後見人活動交流会

平成28年度から開催している「オホーツク管内市民後見人活動交流会」を3年ぶりに開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響から中止としていた本交流会ですが、今回はオンラインを活用することで2市3町（北見市、紋別市、美幌町、大空町、津別町）の交流を行うことができました。

基調講演には、(株)エムリンクホールディングスの本見綾子氏をお招きし、「コロナ禍における意思決定支援」と題した講義をいただきました。コロナ禍だからこそ、相手の存在を感じることも、つながることが大切だと改めて考える機会となったように思います。



市民後見人からの受任報告会では、活動を始めたきっかけや、活動のなかで困ったこと、よかったことなど、それぞれお話しいただきました。津別町からは中田千津子さんが登壇され、市民目線の強みを活かしたご本人様との関わりについて、素敵に発表くださいました。



交流会を3年ぶりに開催！

* - *

いっぽサポートステーションからのお知らせ



そこへ出かけたくない。

あなたの大切な声を聞かせてほしい…

ひきこもり電話相談
☎0152-77-6211(内線)

ひきこもりを支援する窓口の第一歩です

いっぽサポートステーション
(社会福祉法人 津別町社会福祉協議会)

仕事をしたいけど、どうしたら良いか…

最近仕事を休みがちで…

先行きが不安…

子どもが部屋に閉じこもって出てこない…

人と関わるのが怖い…

『いっぽサポートステーション』は
ひきこもり状態にある人や障がいがあるため社会的に孤立している人などを対象に家族以外の第三者ともつながりを持つための一歩が踏み出せるようお手伝いするセンターです。

お話を聞かせて下さい。1人で抱え込まずに相談することが大切です

妹背牛町
東川町

身近な福祉相談所ぽっと視察研修旅行

10月27日～28日の1泊2日で、身近な福祉相談所ぽっとの担い手12名と役場、社協職員3名の15名で妹背牛町と東川町へ視察研修に行ってきました。

妹背牛町社会福祉協議会では、住民の困り事の相談窓口として、「まちかどステーション」を開設しており、相談対応は、まちかどアドバイザー養成講座を修了した地域住民である「まちかどアドバイザー」が活躍しています。

今回身近な福祉相談所ぽっととまちかどステーションの共通課題の「悩み事を相談してもらいたい。」をテーマにまちかどアドバイザーと身近な福祉相談所ぽっとの担い手で意見交換をしました。時間はかかるが、訪問などを通して関係づくりや信頼関係を築くことが大切ではないか、明日からでも取り組んでいきたいとの話になりました。

翌日は東川町の「共生サロンこころん」で、年代、障がいの有無などに関係なく、住民が誰でも集まることができる場所づくりについて見学をしました。

今回の視察研修での経験を生かして、より充実した活動をしていきたいと思えます。



* — *

津別小3年生

総合的な学習の時間を使って 福祉の授業を行いました

12月5日に3年生32名と津別町の福祉の現状と取り組みを理解することを目的に福祉教育の授業を行いました。

「福祉」という言葉を初めて聞いた子供たちでしたが、「福祉は「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに」ということ、「福祉」は自分達も含め、赤ちゃんからお年寄りまで誰でも対象になること、津別町の高齢者のことや、高齢者の生活を支える様々なサービスや、ボランティアなどについて学びました。



そして寿大学との交流授業にむけて、「新型コロナウイルスも吹き飛ばせるくらいみんな元気になれるように!!」と、クリスマスカードのプレゼントを用意しました。

交流授業を楽しみにしていた子供たちでしたが、新型コロナウイルス感染状況から、授業は中止になってしまいました。元気な子どもたちの思いは、寿大学の皆さんに通じたと思います。

「3町ボランティア朋のつどい」の開催

コロナ禍で中止となっておりました、3町ボランティア朋のつどいを10月12日(水)3年振りに津別町の中央公民館講堂で開催しました。

講演内容として、日頃から運動サロンでお世話になっております、日本赤十字北海道看護大学の山本憲志先生にお越し頂き、「転ばぬ先の筋肉ー健康増進・体力向上のための身体運動」について、軽い運動を交えながらお話をして頂きました。

大空町、美幌町、津別町合わせて60名以上の沢山の方が参加しておおいに盛り上がりました。来年度は大空町で開催を予定しております。



日赤看護大 山本憲志 先生



津別町ボランティアセンター
土屋委員長の挨拶



ふくらはぎの筋力維持に効果のある運動
(かかとを上げて下げて)



* - *

ボランティア 輝く人



緑町

細目 幸子さん

就職で津別を離れ、38年後に御主人と8歳の愛犬「ナナ」ちゃんと一緒に津別町に戻って9年たった細目幸子さんにお話を聞きました。

「定年になったら戻ってくるね。」とお母さんと約束していましたが、定年後すぐにお母さんが亡くなり、約束を果たせなかったそうです。

葬儀終了後、慌てて引越し、お父さんと同居しましたが、父親の認知症状に悩まされ、「介護がストレスになったんです。」と、ひと言。

ストレス解消に短時間のボランティアがいいという記事を読んで6年前に社協の給食ボランティアを始められました(ありがたい)。

「ナナちゃん」を昨年見送り、父親の最期を看取るまでは、地域の役に立ちたいと話しながら、自分は人見知りなんですよと教えてくれました。オカリナ演奏に感激し自分でも始め、余りにも楽しいので、お友達を誘っているそうです。「えっ、本当に人見知りなんですか」と聞くと、「知った人は大丈夫」と言って笑ってました。



ナナちゃん

津別町共同募金委員会より



パークゴルフ大会・ゲートボール大会を開催しました。

10月2日にパークゴルフ大会、10月14日にはゲートボール大会をコロナ禍ではありますが例年通り開催する事が出来ました。両大会も30名以上の方に参加して頂き、合計で34,000円の募金を集める事が出来ました。また、大東新聞販売店様には毎年ではありますが協賛して頂きました。今後とも、赤い羽根共同募金活動にご寄付のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



募集中!

令和5年度のまる太くんピンバッジデザイン募集

(毎年津別町の名勝や特産品をモチーフにピンバッジを作成していますが、

来年は「キノス(木材工芸館)」をモチーフにします。今年は「双子の桜」でした。)

■デザインについて

- ・「まる太くん」、「キノス(木材工芸館)外観・内観でも可」、「2023」、「津別(ひらがな、カタカナ、ローマ字でも可)」、以上を必ず描いて下さい。
- ・色は6色まで使用しても構いません。

■A4用紙に、デザイン、氏名、年齢、住所、電話番号
デザイン理由を100字以内で記入して下さい。

■応募は1人1点までとさせていただきます。

■締切 令和5年1月31日

■応募方法 事務局にお持ち頂くか郵送、FAXで
応募下さい。

■採用作品には、図書カード3000円分を贈呈します。

問い合わせ 津別町共同募金委員会 (津別町字幸町41番地 津別町役場庁舎内)

電話:76-1161 FAX:75-5043

— 参考 —
キノス外観
(木材工芸館)



— 参考 —
令和4年度
まる太くんピンバッジ

心あたたまるご寄付ありがとうございました。

(令和4年9月18日から令和4年12月21日)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

共和 嶋田里枝様 ・ 苫小牧市 曾根直美様 ・ 活汲 吉川龍雄様
 柏町 糸尾りう子様 ・ 本岐 修田建恵様 ・ 豊永 田島幸子様
 本町 今西静夫様 ・ 緑町 日下敦子様 ・ 共和 清水則孝様

物品寄付

- ◆北海道コカ・コーラボトリング様 町内の福祉施設へ 飲み物10箱
- ◆津別ライオンズクラブ様 使用済切手 621枚



指定寄付

- ◆旭町第3自治会へ 旭町 曾根直美様
- ◆本岐自治会へ 本岐 修田建恵様
- ◆本岐老人クラブへ 本岐 修田建恵様
- ◆豊永第4自治会へ 豊永 田島幸子様
- ◆新栄生きがいクラブへ 共和 清水則孝様



津別更生保護女性会様より

友愛セールで得た益金の一部を社協へ寄付していただきました。ありがとうございます。

津別町玉葱振興会青年部様より

玉葱6袋寄付していただきました。ありがとうございます。福祉事業等で活用させていただきます。



金銭管理のこと
 成年後見のこと
 など
 ご相談下さい。



編集 後記

今月号の表紙は「笑い文字」の研修です。皆さんとても素敵な作品が出来上がったようです。笑顔の文字を見ていると嫌なことも忘れてしまいそうです。笑うことはとても大事なことでと再認識しました。

このコロナ禍で思い通りいかないことが沢山ありイライラすることもあると思いますが、皆さん笑顔で乗り切りましょう。(K)